

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 常友永市 (主幹兼田園空間係長 新見明)	内線	3931 (4028)
------	-------------------------	---------------------	----------------------------	----	----------------

事業種目	農村総合整備	事業名	事業区間	総事業費	約5億円
		むらづくり交付金	ひまわりの里小野地区	内用地補償費	-
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度
小野市全域				H17	H17
事業目的			事業内容		
町の農村振興基本計画に謳われている「交流型農業の推進」及び「うるおいある生活環境の整備」を推進するため、市民農園等の整備により都市と農村の交流を図るとともに用排水路等の農業生産基盤の整備と水辺空間を創造する農村生活環境の整備等を総合的に実施する。 事業主体：小野市			農業生産基盤 用排水路 5.1km、農道 3.6km、ため池ゲート改修 1か所 市民農園 1か所(24区画 1200m ²) [国50%、県12%、市38~10%、地元0~28%] 環境施設(生活改善) ため池防護柵 1.0km、 生態系保全施設(植樹) 2か所、 遊歩道他 0.7km [国50%、県3%、市47%、地元0%]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	現在、「ひまわりの丘公園」では農産物等の直売施設を中心に地域の活性化を図っているが、これを核として交流を広げるために市民農園や水辺空間を享受できるため池への遊歩道を整備する必要がある。また、昭和40年代に造られ老朽化した農業施設の改修を行い農業生産性の向上を図るとともに、快適な農村環境を創出する。				
(2)有効性・効率性	市民農園や遊歩道等の整備により交流が拡大し、直売所の収益増加が図られる。また、農業用排水施設等の改修によって、維持管理の節減及び排水改良等による生産性向上が見込まれる。 当地区の費用便益比B/Cは1.20で、事業効果が十分期待できる。				
(3)環境適合性	農業用排水路の生き物のため、植樹等により棲息空間を形成し、ため池においては景観整備を行う。 市民農園において野菜残さを堆肥化し土作りに利用する。 ため池防護柵等に県産木材を利用する。				
(4)優先性	「ひまわりの丘公園」が平成14年にオープンし、地域特産品の販売や都市住民への情報発信の場となり、入り込み客が増加している。これを機に市民農園等の周辺施設を整備する。また、維持管理が困難となった老朽化水路等の早期改修、ホタルなど貴重な水生生物保護のための整備など、総合的整備が急がれる。				